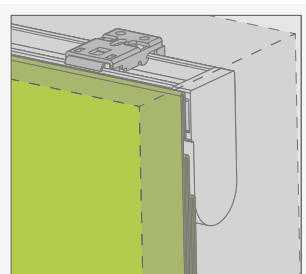
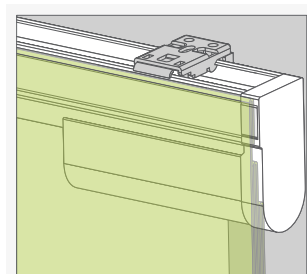


以下より採寸方法をご選択ください。

ビス止め

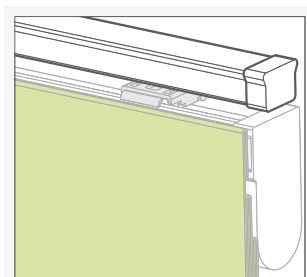


天井付け(窓枠内)



正面付け(窓枠外)

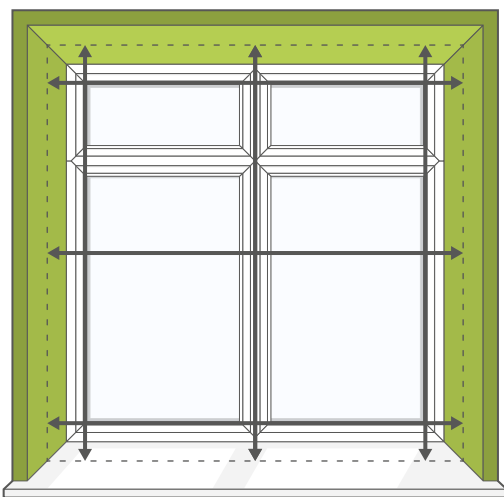
カーテンレール取り付け



カーテンレール取り付け

このガイドでは「天井付け」（窓の内側に取り付ける方法）と「正面付け」（窓枠の上の壁に取り付ける方法）での採寸方法を説明しています。ガイドに従って必要寸法を採寸しましょう。

天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、最も小さな数値でご注文下さい。
- お客様がゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするよう製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右0.5cmずつ、合計1cm小さく製作します。
- 金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：賃貸で穴あけが難しい場合はクリック2フィット（突っ張り式）をオプションでお選びいただけます。

アドバイス：

ローマンシェードを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。



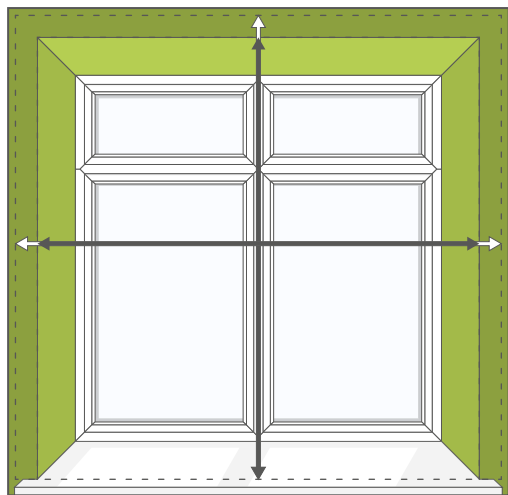
必要な奥行き

ローマンシェード

5cm

アドバイス：寸法が最大値を超える場合は2分割してご注文ください。

正面付け 窓枠の外側に取り付ける場合



「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- 窓枠外寸を測ります。
- 光漏れを防ぐために、窓枠の上に7cm以上、左右に5cmずつの重なり分量を追加するのがおすすめです。
- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

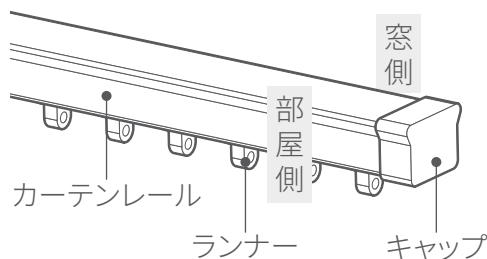
アドバイス：賃貸で穴あけが難しい場合、カーテンレールにもお取付け可能です。（オプション）

注意：

窓枠（木枠）に直接ビスで取り付けるときは、木枠上部の縦幅が最低2.5cm必要です。

カーテンレール取り付け

取り付け前に確認

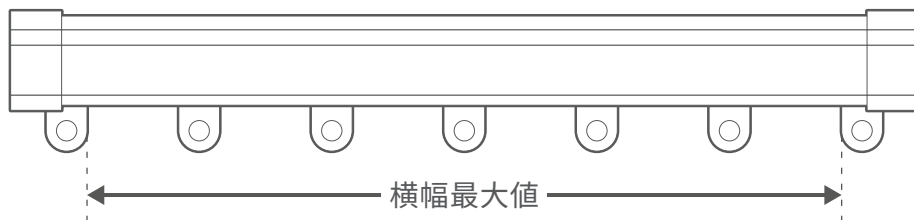


ご注文前にご確認下さい。

・取り付け可能なカーテンレールはC型・角型・H型の金属製レールです。I形や装飾レールにはお取付けが出来ません。

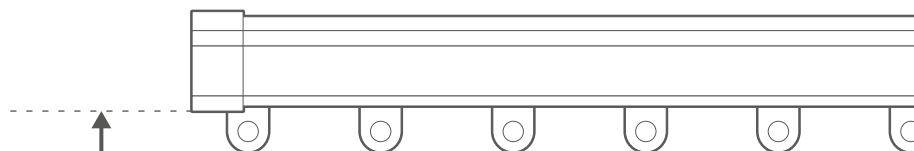
・必ずカーテンレールの耐荷重が10kg以上であることをご確認下さい。

横幅を測る



カーテンレールの固定ランナー以内のサイズを入力してください。

丈を測る



ランナーの上からお好みの高さまで測ります。腰高や出窓の場合は、窓枠下+5~10cmすることをおすすめします。障害物等ないかご確認下さい。